

2017-B

II 14B

拠出金・基金
の名称

国際連合開発計画拠出金(TICADプロセス推進支援)

種 別

☒イヤマークのみ ☐一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際連合開発計画(UNDP)

【所管官庁担当局課・室名】外務省アフリカ部アフリカ第一課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

TICADプロセスは、我が国の対アフリカ外交の基軸であり、1993年の「第1回アフリカ開発会議(TICAD)」以来、同会議を定期的で開催し、アフリカにおける開発問題に継続的に取り組んでいる。本拠出金では、UNDPがアフリカの開発分野において有する豊富なノウハウを活用し、TICADの重点項目を取り入れた技術協力やワークショップ及びTICADプロセスが重視するアフリカ地域機関との協力強化やその能力強化に資するセミナーを実施しているほか、TICADの効果的広報にも活用している。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	107,884	980		1米ドル=110円	100
平成28年度	193,812	1,615		1米ドル=120円	100
平成27年度	186,358	1,694		1米ドル=110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

1 TICAD共催者であるUNDPに対し拠出することにより、TICADにおけるUNDPの積極的な関与を確保することが出来ており、TICADプロセス及び我が国の対アフリカ外交を多角的かつ専門性の高いものとすることに貢献している。特にUNDPは全てのアフリカ諸国に事務所を設置していることから、協力的な域内ネットワークを活用することができ、TICADプロセスを補完する意味においても、本拠出基金を通じたUNDPからの協力は非常に意義深い。

2 平成29年においては、具体的には下記を達成することが出来た。

(1) 8月にモザンビークで開催されたTICAD閣僚会合において、アフリカ諸国より51か国が参加

(2) 経済成長の促進を目的とした産業政策アドバイザーの派遣: 10カ国(100%)

(3) インフラ整備・能力強化を目的としたABEイニシアティブによる留学生受け入れ: 1,100人(110%)

【備考】